

哲 學 研 究

第十卷第六册

第一百一十一號

大正十四年六月一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可大正十四年五月二十五日印刷納本(毎月一回一日發行)

管家遺誠とその和魂漢才説……………文學士 加藤 仁 平

社會學の一元論的方針とモナド論的方針……………文學士 淡 德 三 郎

理念に就いての歴史的と非歴史的……………ロバート・シンチンゲル

教育哲學の要綱……………文學士 伊 藤 猷 典

過渡經驗に就て……………文學士 大 脇 義 一

モリアの宗教發生論……………文學士 菅 圓 吉



京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

ミケランゼロ……………	……文學士	植田壽藏
現代に於ける教育學の基礎付け(二)……………	……文學士	長田新
フイヒテの知識學に關する一考察……………	……文學士	河瀬憲次
理念に就いての歴史的和非歴史的和……………	……ロバート・シンチンゲル	
歴史的時間の問題(シンメル)……………	……文學士	高坂正顯

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 二、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 三、會費ハ振替口座大阪零〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 四、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學 文學部 内 京都哲學會

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金 (振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 時に請求書及領收書等を要する場合は郵券參額御送付下され度候

定 價

冊	冊	冊	冊
一	六	十	十二
冊	冊	冊	冊
金四拾錢	金貳圓四拾錢	金四圓八拾錢	金四圓八拾錢
壹	不	不	不
壹	申	申	申
錢	受	受	受

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十四年五月廿五日印刷納本
 大正十四年六月一日發行

編輯者 京都帝國大學文學部内 京都哲學會
 右代表者 伊藤猷典

發行者 大谷仁兵衛
京都市三條區御幸町西入五十四番地

印刷者 田中和一郎
京都市神小路通七條上ル

印刷所 内外出版株式會社印刷部
京都市西洞院七條南入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番 東京三九三一番

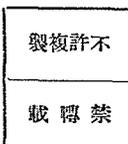
本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

(大阪) 盛文館 三文社

(神戸) 寶文館 川瀨書店

(京都) 共盛社 大盛社



土田杏村著

最新刊

社會哲學原論

社會組織、社會理想、社會政策等の諸問題に根本の哲學的考察を加へた社會哲學の書として、本書は我國の思想界へ全く最初の貢獻だ。長い間の考察の後、著者が本書の第一頁に筆を落してから其の最後の筆を擱くまでには五個年の日時を經過せしめた。著者自身過去の著作に就て此れだけ自信を持つたものは無く、此れを以て自己の哲學の定本にすると言つて居る。其れは過去の短篇を聚めた論文集では無い。全く卷首より卷末へ一貫した原稿紙實に一千枚より成る一個の長大論文である。其の文章や堂々強健、其の思索や細密深邃、著者は僅に其の二三行を得るにさへ數日の苦辛を費した所がある。眞に慘憺たる思索の記録だ。新時代を展望する思想界の大收獲として、敢て世の新人の必讀を要請する所以である。

菊版六百頁
總 袖 美 裝
定價金四圓六拾錢
書留送料貳拾七錢

(大正五年四月六日)大正十四年五月二十五日印刷 納本
第三重那更勿忽可 大正十四年六月一日發行(每月一回一日發售)

哲學研究 第百十一號 定價金四十錢

稅郵金壹錢

東京 東賣部

東京 神田錦町一ノ九
東京 東替振 五五七六七

社會式株版出外内

東京市西洞院七條南
替振 大阪三九三一番

本社